

1 今回の講義の内容

2 回前に配布の資料を使って pushdown automaton (PDA) について .
そのあと教科書第 4 章 (Turing machine)

レポート課題 (復習問題・予習問題)

今回はなし!

今後の講義予定

- 2015.12.4 (Fri) 海外出張のため休講
- 2015.12.11 (Fri) 教科書第 4 章 (Turing machine) の残りの内容と, 質問セッション
- 2016.1.8 (Fri) 期末試験予定
- 2016.3.?? 追試予定 . 追試の日程と, 追試対策の補講の日程は今日相談させてください .

2 期末試験について

2016.1.8 (Fri), 14:55-16:40 .

過去問を勉強してくるとよいです (教科書の巻末) . 要チェックポイント:

- 「アルゴリズムを与えよ」と言われたら, 教科書のアルゴリズム 2.1 (p. 53) のような擬似コード (あるいは一般的なプログラミング言語でのコード) を与えられればいちばん良い! 「こうやってこうやって」という自然言語での説明でもまあ良い .
ただ, そのアルゴリズム (= 「手順」) は, 何も考えずに実行できるものでなければいけない .
 - 「NFA M が語 w を受理するか判定する」というのはアルゴリズムとは言いがたい . (分岐したときどうする?)
- 「これこれの DFA を与えよ」というふうな問題は, 必ず「最小の DFA を与えよ」という形で出題します .
 - なので, アルゴリズム 2.1 (p. 53) を使えるようになっていないとダメ .

3 追試について

- 期末試験の結果単位がとれそうにない人には, 追試を行います .
- 追試の日程・場所: 今日相談して決めます . 場所は理学部 7 号館 (本郷) 予定 (講義のウェブページ確認のこと)
- 問題は簡単で, 基本がしっかりできているか見ます . なので, かなりの部分できないと単位はきびしい (8 割が目安) .
- 希望者に対しては, 試験後できるだけ早く講義のウェブページに「いい感じの番号」を掲示します . そこに番号がなかったら, 追試当日の予定は入れないほうがいいかもしれません .